



平成29年9月8日
中部地方整備局建政部

民間まちづくり実践セミナーを 名古屋市大曾根地区を対象に開催

国土交通省都市局所管の民間まちづくり活動促進事業の一環として、平成26年から全国各地において「民間まちづくり実践セミナー」が開催されています。

今般、名古屋市において本セミナーが開催され、基調講演や現地調査のほか、空き店舗、空きビルの活用や商店街の活性化に向けて、まちづくりの専門家がアドバイスをを行うワークショップが実施されます。

1. 開催日時 平成29年10月21日(土)～23日(月)
2. 場 所 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階レセプションホール
3. 主 催 政策研究大学院大学
4. 後 援 名城大学

※セミナーの概要は別添資料をご覧ください。

5. 配布先 中部地方整備局記者クラブ
6. 問い合わせ先：
国土交通省 中部地方整備局
建政部 計画管理課 牧野、大河内
電話 052-953-8571

(セミナーの内容につきまして)

政策研究大学院大学
民間まちづくり実践セミナー事務局 くつざわ 沓澤
電話 03-6439-6197

民間まちづくりの例



リノベーション前
京都の町家



リノベーション後
旅庵 然 (旅館)



リノベーション前
旧魚網問屋(築83年)



リノベーション後
小田原宿なりわい交流館

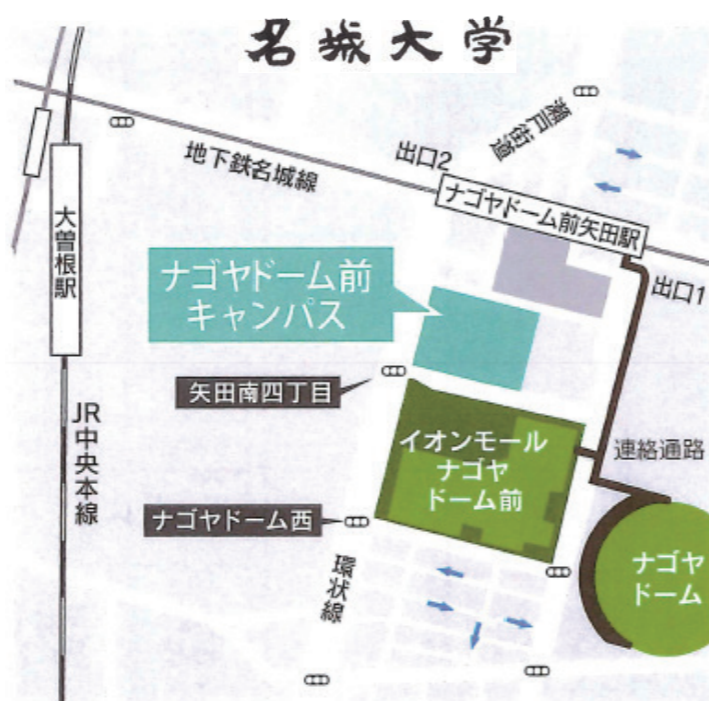
予約・お問い合わせ

参加を希望される方は、10月13日(金)までに、添付のエントリーシートをお使い頂くか、下記アドレスからエントリーシートをダウンロード頂き、所定事項(①氏名、②連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス等)、③希望するプロジェクト素材)をご記入の上、下のあて先までEメールで送信いただくか、FAXまたは郵送でご提出ください。

エントリーシート・ダウンロード用HPアドレス：
<http://www3.grips.ac.jp/~up/word/nagoya.docx>

〒106-8677
東京都港区六本木7-22-1 B1011
政策研究大学院大学
民間まちづくりセミナー事務局 菊池
電話：03-6439-6197
FAX：03-6439-6010
Eメール：minmachi@grips.ac.jp

※お申込みいただいた方には事務局より集合場所等の詳細をご案内いたします。
※その他、質問等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。



JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅から徒歩約10分
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩約3分

このセミナーは国土交通省都市局の「民間まちづくり活動促進事業」の一環として実施するものです

公開
講座

民間まちづくり 実践セミナー

名古屋セミナー2017

参加費無料

※ 交通費・宿泊費は参加者負担となります
※ 以前に民間まちづくり実践セミナーに参加された方もぜひご参加下さい

とき 2017年 10月21日(土)・22日(日)・23日(月)

ところ 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
西館2階 レセプションホール(DW207)

セミナー参加にあたってのお願い

このセミナーは、構想段階にある潜在的なプロジェクトを素材として、まちづくりの専門家からアドバイスを受けながら、プロジェクトの企画、設計、収支計算等の検討を行って発表する、3日間連続のセミナーです。

参加者には、事務局が準備・提供し、セミナー講師とともに現地調査したプロジェクト素材を検討していただきます。

空き店舗・空きビルの活用や商店街の活性化に取り組む個人や団体の方、不動産業・建築設計関係の方、行政関係者の方など皆様のご参加をお待ちしております。

主催



後援



講師紹介



内藤 英治(ないとうえいじ)氏

一般社団法人日本メインストリートセンター副代表理事、アーバンデザイナー。中心市街地を救うプロセスのマニュアル「メインストリートプログラム」習得に渡米。4年間4回のプログラム研修を受け、国内で3年間のモデル事業を経て、日本メインストリートセンターの立ち上げに参画。「中心市街地を救うのは、人材育成にあり」を基本理念とし、「稼ぐエリアマネジメント、公民連携、建物ストックのリノベーションと活用」を、十数都市で実践。



高井 宏之(たかいひろゆき)氏

名城大学工学部建築学科教授。博士(工学)。1957年、岡山県生まれ。1982年、京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士前期課程修了。竹中工務店(技術研究所・設計部など)、三重大学准教授を経て、2008年より現職。(一社)都市住宅学会理事・中部支部長。専門分野は建築計画学。主な研究対象は、建築物の有効利用(宿泊施設と商業施設)、集合住宅の共用空間・施設、および超高層集合住宅。



井澤 知且(いざわともかず)氏

名古屋学院大学現代社会学部・学部長・教授。博士(工学)。1952年大阪生まれ。1978年名古屋工業大学大学院工学研究科修士課程を修了後、民間シンクタンクへ就職、1990年に自ら都市計画系コンサルタントを設立し、代表取締役役に就任。地域開発や都市再生、観光振興など名古屋圏のまちづくりを支援。「ものづくり文化の道」推進協議会(名古屋市西区)会長、白壁アカデミア(名古屋市東区)の代表世話人。



西山 広志(にしやまひろし)氏

NO ARCHITECTS 共同主宰。建築家。1983年 大阪生まれ。2009年 神戸芸術工科大学大学院芸術工学専攻(鈴木明研究室)修了後、奥平桂子と共に活動を開始。2011年 事務所を大阪市此花区に移すと同時にNO ARCHITECTS 設立。建築をベースに、設計やデザイン、リノベーション、インスタレーション、ワークショップ、まちづくりなど、活動は多岐にわたる。近畿大学・摂南大学 非常勤講師。http://noarchitects.jp/



中山 高樹(なかやまたかき)氏

一般社団法人日本メインストリートセンター理事・エリア再生指導員、地域政策プランナー、建築家。菊竹清訓建築設計事務所を経て、浦安市職員として、東京ディズニーリゾート、新浦安周辺エリア等のプロジェクトを初動機から長年、開発調整役として担当。これまで茨城大、東北公益文科大学院、千葉大にて非常勤講師。メインストリートプログラムの米国研修にも参加し「街中を元氣」にする組織づくり・人づくりを実践。

名古屋セミナー2017日程

会場 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
西館2階 レセプションホール(DW207)



レクチャーの様子



ワークショップ



まち歩き・現地調査



まちづくり発表会

10月21日 土 — セミナー第1日

- 13:00 ~ 14:00 ガイダンス・講演
- 14:00 ~ 16:30 まち歩き・現地調査
- 16:30 ~ 18:30 ワークショップ I

※ 事務局が準備したプロジェクト素材の説明を受けたうえで、現地を見学・調査します。

10月22日 日 — セミナー第2日

- 9:30 ~ 12:00 ワークショップ II
- 13:00 ~ 14:00 レクチャー
- 14:30 ~ 18:00 ワークショップ III

※ ワークショップでは、参加者がプロジェクトの企画・提案を行い、空き店舗の活用や商店街活性化等の事業手法について、専門家によるアドバイスを受けて、提案をブラッシュアップします。

10月23日 月 — セミナー第3日

- 9:30 ~ 12:00 ワークショップ IV
- 13:00 ~ 17:00 まちづくり発表会

※ 参加者はプロジェクトの発表を行い、講師の先生方から広くアドバイスを受けることができます。

民間まちづくり実践・名古屋セミナー2017 エントリーシート

参加申し込みと同時に、エントリーシートに所定事項をご記入・ご提出ください。

下記の HP アドレスよりダウンロードいただきメール送信いただくか、本紙に記入の上 FAX 又は郵送でお送りいただき、10月13日（金）までにご提出願います。

○ダウンロード用 HP アドレス

民間まちづくり活動促進事業 <http://www3.grips.ac.jp/~up/jinzai/seminar.html>

→ エントリーシート <http://www3.grips.ac.jp/~up/word/nagoya.docx>

○メール送信先 minmachi@grips.ac.jp

○FAX 03-6439-6010 ○電話 03-6439-6197

○郵送先 〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1 B1011

政策研究大学院大学 民間まちづくりセミナー事務局 菊池

氏名		ご所属・役職	
住所			
電話		E-mail	

(ご記入できる箇所のみご記入下さい)

1. 本セミナー・ワークショップでは、事務局で準備し現地調査したプロジェクト素材について、まちづくりの専門家からアドバイスを受けながら、プロジェクトの具体化を検討いただきます。

どのような観点に重点をおいた検討にご関心がありますか。(1)～(4)のタイプの検討イメージで、近いものに○印をつけてお答え下さい。

- (1) 空き店舗リノベーション
- (2) コミュニティ会館リノベーション
- (3) 大曽根商店街地区のエリアマネジメント
- (4) その他大曽根商店街に関連するプロジェクトの提案

2. 1で選択されたテーマに関して、あなたが解決したい地域の課題、または、目指す地域像について教えてください。

対象地区の経緯と課題

大曽根地区は、江戸時代より街道の終結点として重要な位置を占めてきた。明治以後、国鉄中央線、名鉄瀬戸線の大曽根駅の設置によって、地域のターミナル的性格が強化され、大須商店街・円頓寺商店街と共に3大アーケード商業拠点として発展してきた。

大曽根商店街は、2つの商店街振興組合により形成・発展してきたが、都心への商業機能の集中により活力が衰退し始めた。このため土地地区画整理事業を契機として駅を核とした再開発を促進して商業業務拠点の形成を図るとともに、建物移転による商店の再配置を実施するため、東側地区では「大曽根近代化推進協議会」（1983年）、西側地区では「大曽根まちづくり協議会」（1984年）が設立された。

西側地区では、土地地区画整理事業を契機とした一斉移転により、三角屋根や1.5mセットバックなど建築協定に基づく協調的な建替えを実施し、優良建築物等整備事業（旧景観形成型、総事業費約26億円）の適用によりOZモールを整備（1989年竣工）した。

OZモールは名古屋都市景観賞を受賞し、先進的な事例として全国的な注目を集めたが、現在では人通りも減少し、活性化が課題となっている。

モデル検討対象 大曽根商店街・OZ モール

